

## 有識者提言のとりまとめ方向（案）

この資料は、これからの物流施策の方向性について、これまでの委員会（第1回～第3回）において各委員からいただいた意見や関係団体ヒアリングをもとにとりまとめの方向性を整理したものである。なお、委員会におけるご発言等の詳細及び関係団体等ヒアリング内容は参考資料1～3のとおり。

【凡例】**検**・・・検討会での委員ご発言等 **ヒ**・・・関係団体等ヒアリング聴取内容 **答**・・・答申 で記載の課題  
物流政策の基本的方向性等について（平成27年12月社会資本整備審議会・交通政策審議会 答申）

テーマ	課題	対応の方向性	（参考）関連する主な発言等
1. 産業活動と国民生活を支えるために必要な物流システムの維持・確保	労働力不足の克服 ・長時間労働 ・低賃金 ・長時間労働の抑制に伴う賃金のさらなる低下 ・運賃の上昇による物流コスト増 ・手待ち時間や手荷役等の非効率 適正な価格に対するサービス提供の確保 短納期化・小口化・多頻度化 EC市場の拡大 国民意識の啓発 都市への人口集中、地	労働環境の改善による労働力の確保       労働力不足を克服するための先進的技術の利活用（IoT、BD、AI等の活用）	<ドライバーの労働環境改善> ・ドライバー等の長時間労働の抑制 <b>検ヒ答</b> ・手待ち時間の削減 <b>検答</b> ・輸送と荷役等の附帯作業の分離 <b>検</b> ・中継輸送の促進 <b>ヒ答</b> ・パレット化の実現に向けた取組 <b>検ヒ答</b> ・ドライバー健康管理の支援 <b>検</b> ・ドライバー等の賃金の向上 <b>検答</b> 等 <その他> ・AI等を活用した作業支援等による女性・シニア層の活用 <b>検</b> ・船員育成の推進 <b>ヒ答</b> 等  <トラック> ・ダブル連結トラックの導入推進 <b>ヒ</b> ・自動運転技術の活用 <b>ヒ答</b> ・隊列走行の運用ルールの確立 <b>検ヒ</b> ・隊列走行のための道路インフラ整備 <b>検ヒ</b> ・隊列走行のためのターミナル等の整備 <b>検ヒ</b> 等 <船舶> ・船舶のIoT化による省人化 <b>ヒ</b> 等 <ドローン>

テーマ	課題	対応の方向性	(参考) 関連する主な発言等
	方の過疎化	<p>適正運賃の收受等の取引環境の改善</p> <p>物流ネットワークの維持・確保</p>	<p>・ドローンの活用<sup>ヒ</sup>答<sup>答</sup> 等</p> <p>&lt; 物流施設 &gt;</p> <p>・物流施設内の自動化推進<sup>ヒ</sup></p> <p>・低温物流に対応したロボット等の研究開発<sup>検</sup> 等</p> <p>&lt; 適正運賃の收受 &gt;</p> <p>・運送原価+適正利益による運賃設定<sup>検</sup></p> <p>・サービスレベルに応じた運賃メニューの設定による多様な選択肢の提供<sup>検</sup></p> <p>・工場渡し価格での取引による取りに行く物流等の推進<sup>検</sup></p> <p>・附帯作業のコスト明確化と負担の適正化<sup>検</sup>ヒ<sup>答</sup> 等</p> <p>&lt; その他 &gt;</p> <p>・契約書面化の推進<sup>ヒ</sup>答<sup>答</sup></p> <p>・多重下請構造の是正<sup>ヒ</sup></p> <p>・独禁法や下請法の遵守の徹底<sup>検</sup></p> <p>・不適正事業者への指導強化<sup>ヒ</sup>答<sup>答</sup></p> <p>・「送料無料」表記の禁止<sup>検</sup> 等</p> <p>&lt; 過疎地域等における物流の維持・確保 &gt;</p> <p>・過疎地物流の推進<sup>答</sup></p> <p>・貨客混載の推進<sup>ヒ</sup>答<sup>答</sup></p> <p>・道の駅等の「小さな拠点」を核とした輸送システムの構築<sup>答</sup></p> <p>・都市から地方への帰り荷確保の促進<sup>検</sup>答<sup>答</sup> 等</p> <p>&lt; 再配達削減 &gt;</p> <p>・消費者・荷主・物流事業者による宅配便再配達削減スキームの構築<sup>検</sup>答<sup>答</sup></p> <p>・宅配便再配達コストの回収(ポイント付与・有料化)<sup>検</sup></p> <p>・消費者に向けた再配達問題の教育・周知・啓発<sup>検</sup>答<sup>答</sup></p> <p>・宅配ボックスの設置や受取拠点の拡大推進<sup>ヒ</sup>答<sup>答</sup> 等</p>
2 .物流システムの	日本の物流事業者の海	国内外サプライチェーン全体での最	



テーマ	課題	対応の方向性	(参考) 関連する主な発言等
			<p>&lt; 道路 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産性向上のためのネットワーク整備<sup>ヒ</sup></li> <li>・暫定2車線区間の4車線化<sup>ヒ</sup></li> <li>・高速道路と物流施設の直結を含めたスマートICの活用<sup>ヒ答</sup></li> <li>・高速道路速度制限の引き上げ<sup>検ヒ</sup></li> <li>・高速道路の大口・多頻度割引の継続<sup>ヒ</sup></li> <li>・トラックの全長規制・重量規制の緩和<sup>検ヒ答</sup></li> <li>・特車許可手続きの簡素化<sup>検ヒ答</sup></li> <li>・渋滞対策の推進<sup>検</sup></li> <li>・SA・PA・道の駅における駐車スペース確保<sup>ヒ</sup> 等</li> </ul> <p>&lt; 港湾・海上輸送 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテナ船及びバルク船の大型化に対応した港湾整備<sup>ヒ</sup></li> <li>・LNG バンカリング拠点の整備<sup>検ヒ</sup></li> <li>・港湾エリアの待ち時間の抜本的解消<sup>検ヒ</sup></li> <li>・港湾のIT化等による効率化<sup>ヒ</sup></li> <li>・コンテナラウンドユースの推進<sup>ヒ答</sup></li> <li>・トランシップ貨物の取り込み等による基幹航路の維持拡大<sup>ヒ</sup></li> <li>・国際海上輸送における輸送メニューの強化<sup>検</sup></li> <li>・内航航路の新設<sup>検答</sup></li> <li>・船舶管理会社の実効的活用に向けた環境整備<sup>ヒ</sup></li> <li>・トン数標準税制の改善<sup>ヒ</sup> 等</li> </ul> <p>&lt; 航空輸送 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成田空港をはじめとする空港の整備・運用改善<sup>ヒ</sup></li> <li>・ベリールによる航空機輸送キャパシティの確保<sup>検</sup> 等</li> </ul> <p>&lt; 鉄道 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貨物駅、ORSの維持<sup>検ヒ答</sup></li> <li>・40ft背高コンテナに対応したインフラ整備<sup>検ヒ答</sup></li> <li>・31ftコンテナに対応した貨物駅の整備<sup>ヒ答</sup></li> <li>・鉄道ダイヤ改善等による輸送キャパシティ確保<sup>ヒ答</sup> 等</li> </ul> <p>&lt; 全体 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物流ネットワーク全体の長期的構想の策定<sup>検</sup></li> </ul>

テーマ	課題	対応の方向性	(参考) 関連する主な発言等
		<p>2) 物流施設の機能向上</p> <p>3) モーダルコネクトの強化</p> <p>4) 物流を考慮したまちづくり</p> <p>物流人材の育成</p> <p>1) 物流高度人材の育成</p> <p>2) 物流現場における人材の育成</p>	<p>・高度な鮮度保持技術の確立と普及 <b>検</b><b>答</b> 等</p> <p>・建替や高機能化に対する支援 <b>と</b><b>答</b></p> <p>・物流施設内の自動化推進(再掲) <b>と</b></p> <p>・低温物流に対応したロボット等の研究開発(再掲) <b>検</b></p> <p>・物流施設の立地誘導による適正化 <b>検</b> 等</p> <p>・空港・港湾等の交通拠点へのアクセス道路の整備 <b>答</b></p> <p>・オンドックレールの整備に向けた検討 <b>答</b></p> <p>・高度物流施設の港湾後背地への集積促進 <b>と</b> 等</p> <p>・集配用トラックの駐車スペース・荷さばき場確保 <b>検</b><b>と</b><b>答</b></p> <p>・小型トラックが進入可能な建物の建築促進 <b>検</b><b>答</b></p> <p>・駐車違反基準の緩和に向けた検討 <b>と</b></p> <p>・中心市街地や商業施設における共同配送の推進 <b>答</b> 等</p> <p>・物流高度人材の高等教育における育成 <b>検</b><b>答</b></p> <p>・物流人材の社会的・社内地位向上 <b>検</b> 等</p> <p>・技能実習制度の物流分野の職種拡大 <b>と</b> 等</p>
<p>3 .災害や老朽化等の物流システムをとりまくリスクや地球環境問題への対応</p>	<p>予見される災害への対応</p> <p>インフラの老朽化</p> <p>テロ等の深刻化、新たな海賊脅威海域の出現</p> <p>地球環境問題への対応</p>	<p>災害や老朽化等の物流システムをとりまくリスクへの対応</p> <p>1) 災害に強い物流システムの構築</p>	<p>&lt; 防災 &gt;</p> <p>・道路の防災対策 <b>答</b></p> <p>・港湾の耐震化 <b>と</b></p> <p>・備蓄のあり方に関する物流関係者とインフラ整備者による検討 <b>検</b><b>答</b> 等</p> <p>&lt; 発災時対応 &gt;</p>

テーマ	課題	対応の方向性	(参考) 関連する主な発言等
		<p>2) 物流インフラの老朽化対策・事故対策</p> <p>3) 海賊対策、テロ対策について</p> <p>地球環境に配慮した物流の取組</p>	<p>・大規模災害発災時の被災地以外のソフトランディングのあり方検討<sup>検</sup></p> <p>・大規模災害時の物資輸送の指揮系統の統一<sup>検</sup></p> <p>・震災時の港湾・道路情報を一元化する仕組みの構築<sup>ヒ</sup></p> <p>・港湾・空港の復旧目処情報のタイムリーな提供<sup>検</sup></p> <p>・代替物流ルートの確保・公開<sup>検</sup></p> <p>・災害時における物流施設への燃料優先供給<sup>ヒ</sup></p> <p>・災害時におけるコンビニ配送車両の優先通行<sup>ヒ</sup></p> <p>・BCP 策定後の訓練実施・震災の教訓の継承<sup>ヒ</sup> 等</p> <p>・道路の老朽化対策<sup>答</sup></p> <p>・大型車通行の適正化<sup>答</sup></p> <p>・港湾の老朽化への対応、定期的な浚渫の実施<sup>ヒ</sup></p> <p>・老朽化した物流施設の更新手法の検討<sup>検ヒ答</sup> 等</p> <p>・新たな脅威海域における海賊対策<sup>ヒ</sup></p> <p>・KS/RA 制度の改善に向けた検討<sup>ヒ</sup></p> <p>・マ・シ海峡等の船舶交通の安全確保<sup>ヒ</sup> 等</p> <p>・モーダルシフトや共同物流網の構築推進(再掲)<sup>検ヒ答</sup></p> <p>・環境対応車・大型車の導入促進<sup>検答</sup></p> <p>・SOx 規制に対する対策の推進<sup>ヒ</sup></p> <p>・地球温暖化対策計画の 2050 年目標(温室効果ガス 80%削減)を見据えた環境技術開発等への投資<sup>検</sup></p> <p>・サプライチェーン全体での CO<sub>2</sub> 削減<sup>検</sup> 等</p>